

協力者の方へ

●調査の目的

この調査は、みなさんに日本語で話されたことを聞いてもらいながら、その理解過程を母語で話してもらい、記録することが目的です。みなさんの聴解能力を調べるものではありません。これは聴解コーパス作成プロジェクト（リーダー：野田尚史）の一環として行われます。

●調査の前の準備

日本語で聞きたいものや聞く必要のあるものを選んでください。調査ではそれを聞いてもらいます。聞くものには日本語学習用教材は選ばないでください。聞くものはできるだけ著作権フリーのものや、ウェブサイトで長期間視聴できそうなものを選んでください。聞くものを選ぶときにはデータ収集者と相談するようにしてください。

聞くものはたとえば次のようなものから選んでください。

飲食店や小売店などのスタッフに言われること

交通機関や施設などの案内放送

講義や講演

聞くものを選んだら、それをデータ収集者にメールなどで送るか、どのようなものを選んだかについてデータ収集者に知らせてください。また、聞くものは調査の日に初めに聞くことになるので、それまで聞かないでください。

データ収集者から「調査協力承諾書」と「背景調査票」が事前に送られてきます。「調査協力承諾書」にはサインをし、「背景調査票」には必要な情報を記入しておいてください。

●調査の内容

自分で選んだ聞くものを、普段聞くと同じように聞いて、語句や文の意味をどのように理解したかを少しずつ母語で話してください。

理解した内容だけではなく、頭の中でどのようなことを考えながら聞いているかを話してください。推測したこと、わからないことや判断に迷っていること、解釈の変更などをそのまま話してください。

データ収集者が話されている内容について質問をしますので、それに答えてください。調査中に話したことはすべて録音されます。

●調査の日に持ってくるもの

調査の日には次のものを持ってきてください。

サインをした「調査協力承諾書」

必要な情報を記入した「背景調査票」

●調査実施責任者の連絡先
